

4	コレクション オーディオガイド
	2020、22年度に一部を作成した音声ガイドを追加作成。今年度は作品の制作背景や作者等について説明したA解説19本（うち1本は既存ガイドを更新）と、主に目の見えにくい人の利用を想定したB解説（言葉による記述）3本を製作し公開した。 公開日：2025年2月下旬 掲載先：三重県立美術館ウェブサイト ガイド数：計22本 コレクション オーディオガイドのページ 

実行委員会構成：

三重県立美術館（中核館）
三重県障がい者芸術文化活動支援センター（公益社団法人三重県障害者団体連合会）
公益財団法人三重県文化振興事業団
三重県子ども・福祉部地域福祉課
三重県立美術館ボランティア「樺の会」

謝辞：

令和6年度の事業を実施するにあたり
多大なご協力をいただいた関係諸機関、関係者の方々、および
ここにお名前を記すことを控えさせていただいた方々に
深く感謝の意を表します。
（五十音順、敬称略）

いなべ市ひきこもり相談支援センター瑠璃庵
長崎県美術館
三重県総合博物館
三重県立飯野高等学校
三重県立かがやき特別支援学校緑ヶ丘校
福岡市美術館

小笠原新也
瀬戸口裕子
高尾戸美
半田こづえ
堀部尚之
松原豊
山崎薫

令和6年度
「美術館がつなぐ共生社会推進事業」報告リーフレット

執筆・編集：鈴木麻里子、高曾由子（三重県立美術館学芸普及課）

デザイン：溝田尚子

印刷：株式会社アイブレーン

発行：美術館がつなぐ共生社会推進事業実行委員会
（三重県立美術館内）

〒514-0007 三重県津市大谷町11番地
TEL.059-227-2100 / FAX.059-223-0570

発行日：2025年2月21日

報告書オンライン版 URL
<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/000294846.htm>
より詳しい情報はこちらから

美術館が つなぐ 共生社会 推進事業

報告リーフレット

この事業は、三重県立美術館がさまざまな個人・団体をつなぐハブとして機能しながら、誰もが自分らしく生きられる共生社会の実現に向けて実施しています。2020－22年度に行った「美術館のアクセシビリティ向上推進事業」の趣旨である誰もが利用しやすい環境づくりも、ひきつづきめざしていきます。

新規事業立ち上げの年となる2024年度は、過去の事業の成果を活かしながら、新しい対象者や先進的な取組について学ぶことに重点を置きました。

（助成期間：2024年6月7日－2025年2月28日
*2024年12月2日以降は館内設備改修工事のため休館）

このコードは文字情報をおさめた「音声コード」です。
読み取りには専用アプリ「Uni-Voice」または
「Uni-Voice Blind」のダウンロードが必要です。
裏表紙の右下にはQRコードを掲載しています。
報告書オンライン版はそちらを読み取ってご覧ください。

筆談鑑賞会

「みる＋かく＋よむ＝つながる」

各地で「筆談鑑賞」のプログラムの企画・進行を務める小笠原氏を招き、「果てなきスペイン美術」展の出品作を前に参加者どうしで筆談を行う鑑賞会を実施した。長崎県美術館と当館で開催した展覧会に合わせ、教育プログラムも両館で協働して企画。先に長崎会場で開催された筆談鑑賞の様子は、三重会場の鑑賞ガイド（小冊子）で紹介した。

日時：2024年9月①22日（日・祝）13:30-16:00

②23日（月・振休）10:00-12:30

会場：三重県立美術館 県民ギャラリー、企画展示室

（「果てなきスペイン美術—拓かれる表現の地平」展会場）

講師：小笠原新也（「耳の聞こえない鑑賞案内人」）

企画・進行補助：堀越蒔李子（長崎県美術館エデュケーター）

手話通訳・助言：瀬戸口裕子、山崎薫

参加者数：①7名 ②8名



「やさしい日本語」を学ぶ講座

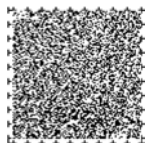
2023年度の調査結果によれば、三重県内の外国人住民数は人口・割合ともに最多記録を更新。これから美術館を利用するさまざまな人とのコミュニケーションのために、「やさしい日本語（外国人等にもわかるように配慮して、簡単にした日本語）」のミュージアムへの導入や多文化共生について、職員・ボランティアスタッフが学ぶ機会を設けた。

日時：2025年2月15日（土）10:00-11:30（講演会）、13:30-15:00（ワークショップ）

会場：三重県立美術館 講堂、美術体験室

講師：高尾戸美（合同会社マーブルワークショップ代表、國學院大学兼任講師）

参加者：当館職員、ボランティアスタッフ



作品輸送を伴う出張授業

県内の学校に出向いて授業を行う「出張授業」において、複製ではなく実物の作品を持ち込むプログラム

三重県立かがやき特別支援学校緑ヶ丘校

会場校は、独立行政法人国立病院機構三重病院および三重大学医学部附属病院で入院・治療する児童生徒が学ぶ学校。油彩画・版画・彫刻計9点を展示。中学部の美術の授業では、教材を使ってウォーミングアップした後、実際の作品を比べたり、自分の好きな1点を探したりしながら鑑賞した。小学部や高等部の児童生徒も来場し、院内教室の児童もオンラインで会場を見学。

日時：2024年12月11日（水）11:30-12:20（中学部授業）

*展示は11:00-15:00

会場：三重県立かがやき特別支援学校緑ヶ丘校 高等部視聴覚室

参加者数：中学部授業14名、院内教室オンライン授業6名、

自由鑑賞25名（教職員を含む）



三重県立飯野高等学校

会場校は、英語コミュニケーション科、応用デザイン科という2つの学科を擁する高校。彫刻3点を展示。午前の授業は、英語コミュニケーション科の生徒を対象に、日本語を使って鑑賞の授業を実施。昼からは応用デザイン科の生徒を対象とした放課後鑑賞会が4組に分かれて行われた。彫刻1点については、触察による鑑賞を可能にした（手袋着用）。

日時：2024年12月16日（月）9:50-10:35

（英語コミュニケーション科授業）

*展示は9:30-14:30

会場：三重県立飯野高等学校 校長室

参加者数：英語コミュニケーション科授業13名、

応用デザイン科放課後鑑賞会70名、

自由鑑賞33名（教職員を含む）



撮影：松原豊

